

# 近き者よろこび、遠き者来たる

長島町長 川添 健

本年3月20日に長島町は15歳の誕生日を迎えた。本町は平成18年の同日に2町の合併により、人口約1万2千人の町として誕生いたしました。「夢と活力ある福祉の充実したまちづくり」を展開し、基幹産業である第一次産業の振興やイベント開催、フラワーロード整備、地方創生の取り組みなどによる交流・関係人口の増加策を進めるとともに、両町間の格差是正や融和を図るべく、道路や港、烟、水道などの基盤整備に努めてまいりました。県内をはじめ、国内においても重要な自治体として確固たる地位を確立いたしました。

これまで長島町は、大きな自然災害に悩まされることもありました。しかし、先人たちのたゆまない努力に支えられてここまで発展してきました。同様に私たちも先人たちが積み上げられてこられたものをさらに発展させて、未来を担う子どもたちに引き継がなければなりません。このようなことを改めて考えていくことが、町制施行15年の節目を迎えた意義だと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの生活は大きく変わってきました。日本は今、コロナ禍を乗り越える大きな変革期にあります。長島町も未来を先取りする社会改革に取り組んでいくことが重要となっています。このようないま、要などを最優先として、町民の安全・安心につながる施策に取り組むとともに、本町の魅力を発信し、さらには愛着をもつて長島で暮らしていけるだけのまちづくりを進めてまいります。

夢のある事業としまして、南九州西回り自動車道は、阿久根市・薩摩川内市間の湯田西方インターから水引インターの整備に着工いたしました。北薩横断道路も高尾野・阿久根間が着工されました。これら路線の整備促進は、経済・観光等の地域間交流の活性化がより一層促進されることは確実であり、着実かつ早期の実現に向けて積極的に活動してまいります。

次に、2つの大型架橋構想であります。長島、天草、島原を結ぶ3県架橋の実現のために、長島町と天草市が連携して、周辺自治体を巻き込みながら、国・県への要望活動等をしてまいります。

行政運営は健全な財政との調和が不可欠です。近年の長島町は大型事業のほか、豪雨、台風等の予想を超えた灾害復旧にも取り組み、多くの財政負担を伴っています。長島町は原点回帰して、補助事業の選択やスマイル集約しながら、周辺地域の振興対策を強力に推進してまいります。

これまで、福祉事務所開設や小中学校給食無償化、プリ奨学金制度創設、道路管理入会林野権限制度を強力に推進してまいります。これまで、福島事務所開設や小中学校給食無償化、プリ奨学金制度創設、道路管理入会林野権限制度を強力に推進してまいります。これまで、福島事務所開設や小中学校給食無償化、プリ奨学金制度創設、道路管理入会林野権限制度を強力に推進してまいります。

行政運営は健全な財政との調和が不可欠です。近年の長島町は大型事業のほか、豪雨、台風等の予想を超えた灾害復旧にも取り組み、多くの財政負担を伴っています。長島町は原点回帰して、補助事業の選択やスマイル集約しながら、周辺地域の振興対策を強力に推進してまいります。これまで、福島事務所開設や小中学校給食無償化、プリ奨学金制度創設、道路管理入会林野権限制度を強力に推進してまいります。

## 誇りと愛着をもてるふるさとに

長島町議会議長 林 義明

互いの地域の将来にわたる発展を心から願い、長い歴史と輝く伝統に幕を閉じ、旧東町と旧長島町が合併し、力強い一步を踏み出してから15年が経過しました。

この間、国内では、東日本大震災や本町にも影響を及ぼした熊本地震など未曾有の災害を幾多と経験してきました。町内においても、平成21、22年に連続した赤潮被害のほか、自然災害は記憶に新しいところです。また、現在は、世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。犠牲となられたかたがたの冥福をお祈りするとともに、感染症対策に昼夜を問わず全力を注ぐ医療従事者及びその関係の皆様に心から敬意を表します。

未だ収束の糸口が見えない中、感想はありません。長島町も未来を先取りする社会改革に取り組んでいくことが重要となっています。このようないま、要などを最優先として、町民の安全・安心につながる施策に取り組むとともに、本町の魅力を発信し、さらには愛着をもつて長島で暮らしていけるだけのまちづくりを進めてまいります。

夢追い元気集落活性化事業補助金など全国でも類を見ない独自の施策

を重ねています。また、地域高規格道路の予定路線となっている連絡道の計画路線への格上げ等も検討する年として、耐力をつける年にしなければなりません。

長島町は4月1日から本所・支所方式へ移行しました。これまで行政の事務事業の見直し等を進め、組織の再編を行いました。今後も、住民が利用しやすい役場づくりを推進してまいります。



今年度として、耐力をつける年にしなければなりません。このようないま、要などを最優先として、町民の安全・安心につながる施策に取り組むとともに、本町の魅力を発信し、さらには愛着をもつて長島で暮らしていけるだけのまちづくりを進めてまいります。

夢のある事業としまして、南九州西回り自動車道は、阿久根市・薩摩川内市間の湯田西方インターから水引インターの整備に着工いたしました。北薩横断道路も高尾野・阿久根間が着工されました。これら路線の整備促進は、経済・観光等の地域間交流の活性化がより一層促進されることは確実であり、着実かつ早期の実現に向けて積極的に活動してまいります。

次に、2つの大型架橋構想であります。長島、天草、島原を結ぶ3県架橋の実現のために、長島町と天草市が連携して、周辺自治体を巻き込みながら、国・県への要望活動等をしてまいります。

行政運営は健全な財政との調和が不可欠です。近年の長島町は大型事業のほか、豪雨、台風等の予想を超えた灾害復旧にも取り組み、多くの財政負担を伴っています。長島町は原点回帰して、補助事業の選択やスマイル集約しながら、周辺地域の振興対策を強力に推進してまいります。これまで、福島事務所開設や小中学校給食無償化、プリ奨学金制度創設、道路管理入会林野権限制度を強力に推進してまいります。



変わっていました。日本は今、コロナ禍を乗り越える大きな変革期にあります。長島町も未来を先取りする社会改革に取り組んでいくことが重要となっています。このようないま、要などを最優先として、町民の安全・安心につながる施策に取り組むとともに、本町の魅力を発信し、さらには愛着をもつて長島で暮らしていけるだけのまちづくりを進めてまいります。

これまで長島町は、大きな自然災害に悩まされました。しかし、先人たちのたゆまない努力に支えられてここまで発展してきました。同様に私たちも先人たちが積み上げられてこられたものをさらに発展させて、未来を担う子どもたちに引き継がなければなりません。このようなことを改めて考えていくことが、町制施行15年の節目を迎えた意義だと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの生活は大きく変わってきました。日本は今、コロナ禍を乗り越える大きな変革期にあります。長島町も未来を先取りする社会改革に取り組んでいくことが重要となっています。このようないま、要などを最優先として、町民の安全・安心につながる施策に取り組むとともに、本町の魅力を発信し、さらには愛着をもつて長島で暮らしていけるだけのまちづくりを進めてまいります。

夢追い元気集落活性化事業補助金など全国でも類を見ない独自の施策を重ねています。また、地域高規格道路の予定路線となっている連絡道の計画路線への格上げ等も検討する年として、耐力をつける年にしなければなりません。

長島町は4月1日から本所・支所方式へ移行しました。これまで行政の事務事業の見直し等を進め、組織の再編を行いました。今後も、住民が利用しやすい役場づくりを推進してまいります。

特集

# 町制施行15周年

## ともに歩んだ15年を振り返る

祝 長島町誕生

平成十八年三月二十日



新「長島町」誕生(平成18年)



福祉事務所開設(平成19年)



2年連続の赤潮被害(平成21・22年)

だんだん市場オープン(平成22年)



本町は3月で町制施行15周年を迎えるました。平成18年3月20日に旧東町と旧長島町が合併し、現在の長島町が誕生しました。

15年の歴史を振り返ると、道のりは決して順調なことだけでは

なかつたかもしません。町の発展に尽力された先人たちの力で現在の長島町があります。

今号では、15年間の町の歴史を紹介します。

# 平成18年～平成28年 長島町誕生～町制施行10周年

<b>平成18年</b>	
3月20日	新「長島町」誕生
4月23日	長島町長／町議会議員選挙(定数20=旧東町11・旧長島町9) 初代町長に川添健氏
5月8日	長島町議会臨時会 初代議長に濱上實則氏・副議長に小川武男氏
12月3日	長島町誕生記念式典を開催 町民憲章・町木=椿・町花=すいせんを発表
<b>平成19年</b>	
3月2日	鹿児島県立長島高等学校卒業式・閉校式 58年の歴史に幕
4月1日	長島町総合振興計画「フル・デュー・プラン」始動 九州の町村では初となる「長島町福祉事務所」開設
	長島町ふるさと景観条例施行
<b>平成20年</b>	
8月1日	消防分遣所再編(所管区域・通信業務等の見直し)スタート
12月4日	汐見地区の「上り浜橋」開通式
12月26日	長島町議会議員定数を2減(定数16)
<b>平成21年</b>	
2月5日	常陸宮殿下・妃殿下御来町
7月29日	赤潮被害発生・養殖ブリに甚大な被害
10月23日	「全国花のまちづくりコンクール優秀賞」受賞
<b>平成22年</b>	
2月13日	長島物産館「黒之瀬戸だんだん市場」オープン
4月13日	長島町長選挙告示 長島町長に川添健氏(2期目)=無投票
4月18日	長島町議会議員選挙執行
4月28日	長島町議会臨時会 議長に濱上實則氏・副議長に小川武男氏
7月2日	赤潮被害発生・2年連続で養殖ブリに甚大な被害
<b>平成23年</b>	
3月20日	長島町合併5周年記念式典
9月1日	長島町立学校給食センターが統合
12月2日	長島町合併5周年記念「NHKふるさと自慢うた自慢」公開収録
<b>平成24年</b>	
1月14日	濱上實則長島町議会議長ご逝去
1月20日	長島町議会臨時会 議長に小川武男氏・副議長に植元敏光氏
3月23日	鹿児島県景観大賞受賞
3月27日	長島町夢追い獅子島架橋基金条例施行
5月2日	長島町議会臨時会 議長に植元敏光氏・副議長に児島薩男氏
8月30日	「鹿児島県消防操法大会小型ポンプの部」で長島町消防団(中央分団)が優勝
12月18日	長島町議会議員定数を2減(定数14)
<b>平成25年</b>	
2月10日	幣串小学校閉校式 108年の歴史に幕
2月24日	獅子島小学校閉校式 26年前の統合を経て閉校
4月8日	新「獅子島小学校」開校式 獅子島中学校の敷地内に小学校・幼稚園も併設
<b>平成26年</b>	
2月28日	長島町消防団が日本消防協会特別表彰「まとい」受章
4月2日	黒之瀬戸大橋開通40周年記念式典
4月8日	長島町長選挙告示 長島町長に川添健氏(3期目)=無投票
4月13日	長島町議会議員選挙執行
4月30日	長島町議会臨時会 議長に児島薩男氏・副議長に池田廣氏
<b>平成27年</b>	
2月8日	本浦小学校閉校式 122年の歴史に幕
4月1日	総務省から職員の派遣を受け「長島町版地方創生」スタート
8月1日	長島町版地方創生スタート
10月27日	リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰で「国土交通大臣賞」受賞
11月9日	町営の「長島夢追い元気発電所」竣工式
<b>平成28年</b>	
3月20日	長島町町制施行10周年記念式典
8月2日	伊唐大橋開通20周年記念式典
9月8日	赤潮被害発生 脇崎、宮ノ浦地区などで甚大な被害
12月26日	行人岳線整備完了

平成18年3月20日に新長島町が誕生。初代町長には川添健町長が選ばされました。「夢と活力ある福祉の充実したまち」の実現のため、組織や施設の整備が進められ、町民の一体感の醸成が図られました。町制施行10周年を迎えた平成28年には、記念式典が行われました。



夢追い元気発電所売電開始  
(平成27年)



町制施行10周年記念式典  
(平成28年)

# 平成29年 本町が総務大臣表彰受賞

町民の要望にきめ細やかに対応するための「スマイルプラン事業」や小

中学校の給食費無償化が始まりました。地方自治法施行70周年記念式典

では、本町が地方自治功労者として総務大臣表彰を受賞しました。九州内の町村で初となる福祉事務所の開設や「ぐるっと一周フーラワーロードづくり」事業、地方創生事業などの特色ある施策を町民とともに展開してきたことが認められたものです。



長岡技大、鹿高専と連携協定締結



田尻小学校閉校式



第17回ながしま造形美術展



子育て広場開所式

## 平成30年 全国消防操法大会で町消防団が準優勝

第26回全国消防操法大会に鹿児島県代表で出場した町消防団(城川内分団城川内班)が「小型ポンプの部」で準優勝に輝きました。富山県富山市で開かれた同大会は、町消防団にとって、初の全国大会。選手たちは堂々の操法を披露し、町民に夢と感動を与えるました。



汐見小学校閉校式



県道葛輪瀬戸線が開通



町道平尾浜瀬線が全線完成



町消防団が全国操法大会で準優勝



九州地区漁港漁場大会が本町で開催

## 平成30年

- 1月15日 県道葛輪瀬戸線(本浦工区)開通
- 3月4日 汐見小学校閉校式 135年の歴史に幕
- 4月1日 役場の組織再編 受付窓口などが変更
- 15日 長島町長／町議会議員選挙  
長島町長に川添健氏(4期目)
- 27日 長島町議会臨時会  
議長に林義明氏、副議長に古田一博氏
- 7月12日 「平成30年度九州地区漁港漁場大会」が本町で開催
- 7月24日 町道平尾浜瀬線全線完成
- 10月19日 「第26回全国消防操法大会小型ポンプの部」で  
長島町消防団(城川内分団城川内班)が準優勝



東郷と企業立地協定締結

# 平成31年・令和元年 待望の光 提供開始

町民から待ち望む声が多かった、  
高速光通信サービスの提供が始ま  
りました。この年で対象エリアの加  
入率が35%を超えて、町の重要なイン  
フラとなっています。

本町舞台の映画『夕陽のあと』が  
完成し、町文化ホールで開かれた  
完成披露試写会には女優の貴地谷  
しほりさんが出席し、町民とともに  
に公開を祝いました。



映画『夕陽のあと』完成披露試写会



第18回ながしま造形美術展



「山門野」自治公民館誕生



新「東分遣所」運用開始



夢創造キャンパス開所



令和由来の歌碑

- 平成31年**
- 令和元年**
- 3月17日 三反園訓知事来町 車座対話開催
  - 4月1日 山門野上、山門野中、山門野下自治公民館が合併し 山門野自治公民館が誕生
  - 移転・新築された新東分遣所が運用開始
  - 5月1日 令和由来の歌碑除幕式
  - 6月10日 高速光通信サービス提供開始 鷹巣地区、浦底地区、諸浦地区、杉ノ段地区
  - 21日 指江地区にコンビニオープン
  - 8月21日 赤潮被害発生 幌串、薄井、伊唐、宮ノ浦、脇崎地区などで甚大な被害
  - 10月12日～ 第18回ながしま造形美術展開催
  - 18日 クビナガリュウの化石を本町に寄贈
  - 26日 映画『夕陽のあと』完成披露試写会 全国公開へ
  - 28日 長島大陸夢創造キャンパス開所

## 令和2年 コロナ・豪雨災害が猛威振るう

新型コロナウイルスが世界中で大流行し、本町でも相次ぐイベント中止や小中学校の臨時休校など住民の生活や経済に深刻な影響を及ぼしました。

大雨特別警報が発令された令和2年7月豪雨は、本町で大規模な地すべりや土砂崩れ、床下浸水など深い爪痕を残しました。



大規模な地すべりが起きた立石地区



豪雨被害を受けた旧獅子島保育園



塩田知事と語る会開催



改修工事で効率化が図られた役場正面窓口



新「鷹巣診療所」開所

### 令和2年

- 3月3日 長島町新型コロナウイルス感染症対策本部設置 町内の小中学校は臨時休校へ
- 4月1日 会計年度任用職員制度導入に伴う包括業務委託開始 本島地区の簡易水道事業を統合し、上水道事業へ移行
- 5月7日 本町で特別定額給付金申請受付開始 20日 高速光通信サービス提供エリア拡大 旧長島町地区
- 6月～ 役場庁舎改修工事開始
- 7月3日～ 令和2年7月豪雨 本町全域で甚大な被害 10日 特別定額給付金 納付率100%達成
- 20日 新型コロナウイルス対策支援事業 プレミアム付商品券販売開始
- 11月4日 移転・新築された新鷹巣診療所が開院 21日 塩田康一知事来町 知事と語る車座対話開催
- 令和3年 3月20日 長島町町制施行15周年を迎える

**活気に満ちた  
魅力あふれる町に**

平成18年2月15日に開かれた「東町長島町  
合併記念式典」で、参加者の子どもたちが「活気  
に満ちた、魅力あふれる町づくりに努めます」  
と未来へのメッセージを読み上げました。  
これからも私たちはともに歩み続け、一人ひ  
とりの輝く力が集まることで、もっと魅力あ  
ふれる長島町になれるはずです。